

[省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8(第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月16日

(宛先) 長野市長 荻原 健司 様

提出者

住所 長野県長野市南千歳町878番地

氏名 株式会社守谷商会

代表取締役社長 吉澤 浩一郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

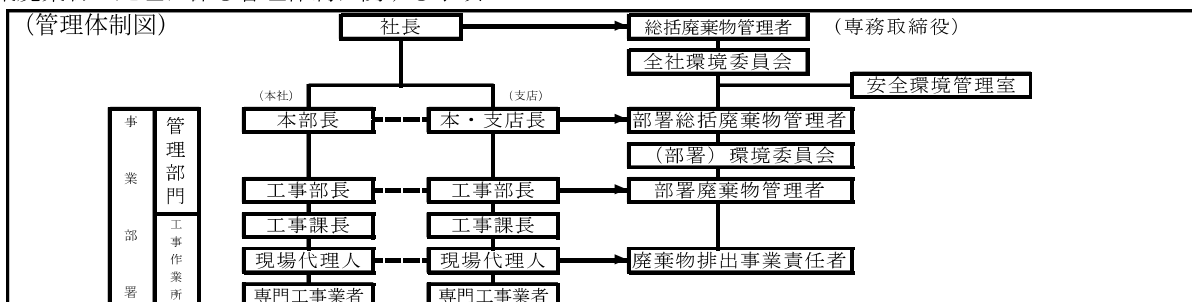
電話番号 026-226-0111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	長野市内各現場
事業場の所在地	市内各所
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	完成工事高 363億円
③従業員数	385人
④産業廃棄物の一連の処理工程	別紙2のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】						
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリガラ、廃アスフ)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
排出量	26.50t	38.76t	69.07t	103.10t	1,936.26t	17.65t
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず		
排出量	73.12t	20.01t	94.23t	1.76t		
(これまでに実施した取組)						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工計画段階において、廃棄物処理計画書を作成し廃棄物の種類及び発生量を把握して産業廃棄物の減量化を図った。 ・ 安全衛生環境パトロールを実施し、産業廃棄物の分別処理状況の確認、指導を行った。 						
【目標】						
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリガラ、廃アスフ)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
排出量	25.00t	35.00t	65.00t	100.00t	1,800.00t	10.00t
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
排出量	70.00t	20.00t	90.00t	1.00t		
(今後実施する予定の取組)						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工計画段階において、廃棄物処理計画書を作成し廃棄物の種類及び発生量を把握して産業廃棄物の減量化を図る。 ・ 安全衛生環境パトロールを実施し、産業廃棄物の分別処理状況の確認、指導を行う。 ・ 手戻り・手直しにより発生する不要な産業廃棄物の削減。 						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、紙くず、ダンボール、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず・及び陶磁器くず、廃石膏ボード、がれき類、コンクリート塊、アスファルト塊に分別しそれぞれについて他の廃棄物が混入しないよう保管する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、紙くず、ダンボール、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず・及び陶磁器くず、廃石膏ボード、がれき類、コンクリート塊、アスファルト塊に分別しそれぞれについて他の廃棄物が混入しないように保管することを継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度（令和4年度）実績】 該当なし						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アスフ)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アスフ)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和4年度）実績】 該当なし						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アスフ)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アスフ)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】 該当なし							
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む)	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ片)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
	【目標】						
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む)	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ片)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】							
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む)	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ片)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	
①現状	全処理委託量	26.50t	38.76t	69.07t	103.10t	1,936.26t	17.65t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.00t	12.98t	25.23t	40.86t	141.12t	14.82t
	再生利用業者への処理委託量	26.50t		69.09t	79.96t	1,838.38t	
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
	全処理委託量	73.12t	20.01t	94.23t	1.76t	0.00t	0.00t
	優良認定処理業者への処理委託量		6.16t	35.13t			
	再生利用業者への処理委託量		6.04t	28.31t			
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者への委託を優先する。						

【目標】		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む)	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ片等)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
②計画	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量	25.00t	35.00t	65.00t	100.00t	1,800.00t	10.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	5.00t	15.00t	30.00t	50.00t	150.00t	5.00t
	再生利用業者への処理委託量	25.00t		60.00t	80.00t	1,700.00t	
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	0	0
	全処理委託量	70.00t	20.00t	90.00t	1.00t	0.00t	0.00t
	優良認定処理業者への処理委託量		10.00t	40.00t			
	再生利用業者への処理委託量		15.00t	40.00t			
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量							
(今後実施する予定の取組) コンクリート・アスファルト塊、木くず、段ボール、石膏ボード、金属の再生利用業者への委託量を高める。 手戻り・手直しにより発生する不要な産業廃棄物の削減する。							
※事務処理欄							

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。

また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類 (実績値・計画値)												合 計	
		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチ)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アスファ)	建設混合廃棄物(安定型、管埋型)	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	0	0		
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	26.50t	38.76t	69.07t	103.10t	1,936.26t	17.65t	73.12t	20.01t	94.23t	1.76t	0.00t	0.00t	2,380.46t	
	本年度排出量(計画)	25.00t	35.00t	65.00t	100.00t	1,800.00t	10.00t	70.00t	20.00t	90.00t	1.00t	0.00t	0.00t	2,216.00t	
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t		
	本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t		
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	26.50t	38.76t	69.07t	103.10t	1,936.26t	17.65t	73.12t	20.01t	94.23t	1.76t	0.00t	0.00t	2,380.46t
		本年度計画(目標)	25.00t	35.00t	65.00t	100.00t	1,800.00t	10.00t	70.00t	20.00t	90.00t	1.00t	0.00t	0.00t	2,216.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	2.00t	12.98t	25.23t	40.86t	141.12t	14.82t	0.00t	6.16t	35.13t	0.00t	0.00t	0.00t	278.30t
		本年度計画(目標)	5.00t	15.00t	30.00t	50.00t	150.00t	5.00t	0.00t	10.00t	40.00t	0.00t	0.00t	0.00t	305.00t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	26.50t	0.00t	69.09t	79.96t	1,838.38t	0.00t	0.00t	6.04t	28.31t	0.00t	0.00t	0.00t	2,048.28t
		本年度計画(目標)	25.00t	0.00t	60.00t	80.00t	1,700.00t	0.00t	0.00t	15.00t	40.00t	0.00t	0.00t	0.00t	1,920.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画(目標)	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。